

租税教育実践レポート

税金の種類を学び、財政と国民の福祉について考える

登米市立中田中学校講師 3学年 菅原 由美

実施年月日：令和 7年 1月21日 36名

1 実践計画・指導のねらい

身近な公共施設やサービスを考えることで、税金の必要性を認識し、税金が我々の生活を支えていることに気づかせたい。本単元では、税金の種類や仕組みを理解するだけでなく、累進課税制度や財政の課題などを自分の言葉で説明できる力を身に付けさせたい。さらに、社会保障の仕組みを明確に理解した上で、これからの日本の少子高齢社会において、持続可能性の観点から税金の必要性を考察させたい。ペアやグループ活動を取り入れ、他者の考えも参考にしながら学習内容について深く考えられるようにしたい。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、こどもたちの反応（●）、使用教材等（□）
1	・租税教室	○ <u>税について知ろう。</u> ● 税についての現状や詳細な内容を学んだ。具体的な累進課税の納税額を計算してみる活動など、生徒が意欲的に課題に取り組んだ。 □ 資料（税務署で準備）、プロジェクター
2	私たちの生活と財政 ・財政の仕組み ・さまざまな税金 ・税金の公平性 ・財政の役割と課題	○ <u>私たちが納める税金はどのように使われているか。</u> ● 社会保障費や地方交付税交付金など多様な歳出に使われている。 ○ <u>税金の公平性を図るためにはどのような課税の方法がよいか。</u> ● 直接税と間接税など、税の種類について調べ、公平性を図るためには累進課税が必要であることを自分の言葉で説明した。 □ 教科書「新しい公民」、デジタル教科書、テレビ、AppleTV、ipad
3	社会保障の仕組み ・社会保障の役割とおこり ・社会保障の4つの柱	○ <u>日本の社会保障はどのように行われているか。</u> ● 年金・医療・子育て支援など。 ● ipadを活用して社会保障の歴史や4つの柱についてまとめる。 ○ <u>日本の将来の社会保障について考えよう。</u> ● 持続可能な社会保障制度にするためにはどのような視点が大切かを考えさせ、自分の言葉で説明させた。（共に支え合う、自分も参加できることをする。自助・共助・公助。など） □ 教科書「新しい公民」、デジタル教科書、テレビ、AppleTV、ipad
4	少子高齢化と財政 ・少子高齢化と社会保障 ・社会保険の課題 ・福祉社会の実現に向けて	○ <u>少子高齢化が日本の財政におよぼす影響を考えよう。</u> ● 今後日本が「高福祉高負担」「低福祉低負担」の社会のどちらに進むべきかを、理由を考えて説明させた。 (高福祉高負担と考える生徒が多かった。：支え合うことは大切。高福祉と考えるが負担を減らせる方法も考える必要がある。など) □ 教科書「新しい公民」、デジタル教科書、テレビ、AppleTV、ipad

【指導のポイント】《租税教室》

税務署の職員の方に、分かりやすく税について説明をしていただいた。DVDを視聴して税金の大切さを理解することができた。

【指導のポイント】《1・2時間目》

身近な税金である消費税から興味を持てるようにする。グループ形態で一人一役を与え、調べ学習を取り入れて自分の言葉で説明できるように設定した。登米市の財政については前単元で学習した。

【指導のポイント】《3時間目》

歴史的に社会保障が認められていった経緯を踏まえ、現在は、社会保障の4つの柱を基に、国民の権利を守っていることに気づかせる。

【指導のポイント】《4時間目》

国民負担率と国民所得に占める社会保障支出の割合の関係に気付かせる。また、効率や公正の観点も意識させる。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）（租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など）

- ◎ 税務署の租税教室は生徒の興味のもてる内容であり、租税教室がきっかけで税の仕組みについて意欲的に学習に学ぶ生徒が多かった。（租税教室では最新の資料を用いて説明している。）
- ◎ 現在の日本の財政には、具体的にどのような課題があり、自分たちがそのために何ができるかを考えるきっかけになった。
- ◎ 今後の日本の課題について、少子高齢化と社会保障や財政に関連させて自分の考えをまとめることができた。
- ◆ 資料の読み取りや重要語句の確認を行ったが、丁寧に進めていたために時間がかかってしまった。単元計画の見直しを行い、生徒の活動時間を増やす工夫が必要である。
- ◆ 租税教室（6月）と税の作文（8月）までに実施時期の間隔があるので、社会科の年間指導計画との関連も見直し、連続して集中して実施できるような構成にしていきたい。